

＝市民の声募集中＝

市政に思う

今回は大柿高校のみなさんに市民の声をお願いしました。市民の声を募集しています。《問い合わせ先》議会広報特別委員会 ☎42-6310

市民の声

大好きな故郷、江田島



県立大柿高校3年 安田 英玲奈

江田島市はのどかで住みやすい所です。空気はきれいだし、地域の皆さんは気さくで優しいし、「3つのF」フルーツ・フラワー・フィッシュ、そして紙布など多くの特産品・・考えてみれば、素晴らしいと感じる。素晴らしさがたくさんあります。

域探究という授業で、地域の良さを再発見しています。地域の方々の繋がりが深いこともあり、江田島市はかけがえのない故郷となっています。しかし、いま江田島市は過疎化が進んでいます。私の家の近所にも空き家があり、嫌でも人口減少を実感します。

私は、若者が都会に出てしまえば、私たちが地域に過疎化の原因だと考えます。そして、その理由は、江田島市について詳しく知らないことと働

場所が少ないこと、二つだと考えます。私が江田島市の特産品を具体的に知ったのは、大柿高校の生徒会活動を通してでした。これからは、小・中学生と一緒に江田島市について知る機会を増やす必要があると思います。そして、今よりも多くの企業に商品開発などで協力していただければ、若者が残り、少しは過疎化を止められるのではないかと思います。簡単ではないことですが、私も江田島市民として、

これから江田島市が活性化することを願っています。



夢と高校生活



県立大柿高校3年 内藤 悠吾

私が大柿高校に進学した理由は、江田島に祖母の家があり、祖父母と一緒に暮らしたかったからです。入学した大柿高校は、江田島市で唯一の高校であり、少人数で授業が行われるので先生と生徒の関係が密な学校なので、学びやすいことがわかりました。そして学校がイベントやボランティア活動に積極的に参加していて、地域の方々からも大柿高校を支えて

いただき、私たちと地域の皆さんがよい絆でつながっています。また江田島市は自然豊かで、美しい瀬戸内海を眺めながら学校に通うことができます。今年の4月に大柿高校にカヌー部が設立されました。最初は部員が私一人、大会には地域のカヌークラブで出場しました。

6月に部員が一人増え練習する仲間ができました。現在、大柿高校の全校生徒は68人ですが、学校生活は充実しています。

そんな大柿高校を卒業し、私は今年4月から自衛隊員として就職します。自衛隊は日本を守る組織ですが、東北や広島で起きた震災や土砂災害での支援も行ってきました。これからは、残りの高校生活を大切に、就職後は、ボランティアなどの経験を生かしていきたいと思っています。



江田島と私



県立大柿高校3年 重田 和磨

私は江田島で生まれ、江田島で育ちました。高校卒業を目前にした今、江田島の良いところに改めて気づくことがよくあります。例えば、江田島は豊かな自然に囲まれています。そのため、海や川、山などが小さいころからの私の遊び場でした。また、江田島の人はとても優しいです。近所の方々は、みんな家族のように接してくれています。悪いことをしたときは怒って

くれ、またうれしいことがあると自分のことのように一緒に喜んでくれます。私は大柿高校に通っているのですが、現在の全校生徒数は70人を切っています。人数の少ない学校ですが、私は大柿高校でもとても充実した日々を送っています。例えば、少人数制の授業では、先生との距離が近く、対話しながらの授業が展開されています。そのため、質問がしやすく、集中し

て授業を受けることができます。また、学校行事などのイベントは規模が小さくなりますが、その小さい中でいかに成功させることができるかが重要です。少ない人数だけでなく、よく知った仲のクラスメイトと力を合わせてやり遂げることが大きな喜びと達成感につながります。私は、大柿高校に来てとてもよかったです。卒業後、私は島内での就職が決まっています。

江田島に恩返しのできる大人になりたいと思います。みんなで協力して、江田島をサポートできる人物を目指して頑張ります。



江田島市で社会人になる！



県立大柿高校3年 小林 優衣

私は、大柿高校の三年生です。今年、就職先が決まりました。私の就職先を決めるための第一条件として、江田島市内で働きたいというものがありませんでした。これは譲れませんでした。江田島市は、自然が豊かで、私が住んでいるところの近くには、海も山もあり、とても景色が良く、夕日も本当にきれいです。家族と一緒に過ごすため、近くで働きたいと思いました。そして、もう一つは、江田

島市内で高校在学中に取得した資格を活かせる事を条件に仕事を探しました。これまで、パソコン関係の資格の取得や、夏休みにあった就職に関する講座や面接練習などに取り組んだ結果、瀬戸内のきれいな海産物で食品づくりを行っている会社に就職が決まりました。今は、生まれ育った江田島市内の会社で働けるということから幸せなことだと思っています。小さいころから高校

までの間、お世話になったたくさんの方のために役に立てる社会人として私にできることをがんばります。自分の住んでいる地域で仕事をすることは、安心して仕事に打ち込むことができますという事です。だから、就職が決まるかどうか心配していましたが、内定をいただきました。今年4月からは、江田島市の社会人です。私が働く会社では、瀬戸内

海でとれた、ちりめんやなまこ、カキなどを加工し、東京の築地市場にも届けられています。江田島市から旅立っていく商品も江田島を知らない人にも喜んでもらえるように、私は事務の仕事で貢献したいと思っています。

